

一家を出たのはいつ?

高校3年生の春。家はとてもじゃないけど勉強できる環境ではなかったから、焦っていた。

どんな気持ちだった?

これからどうしよう…と、人生に迷うような気持ちだった。誰かに頼ると言うことが初めての試みだったから、不安も大きかった。

これまで大人に頼ることはできなかった?

小学校の時に一度だけ、先生が私の家の状況に気づいてくれて、しんどいことを打ち明けたことがある。たけど、家庭に介しづらいこともあったのか、家庭訪問を一回してくれただけで終わった。それからは、言っても仕方ないかなとあきらめていた。

ぬっくハウスは、どんな場所だった?

「実家」みたいな場所、かな。最初は緊張していたけど、スタッフさんが、家では教えてもらえなかった料理とか洗濯とか、生活の基盤となることを教えてくれたから。

スタッフとはどんな話をしたの?

めっちゃ他愛のない話ばかりしてた!家ではそれができなかったから、なんてことない会話があることに落ち着いた。

スタッフはどんな存在だった?

母は仕事やパチンコで基本的に家にいなかったの、大人がずっとそばにいるという環境が新鮮で。何か困ったときに相談できたり、一緒に解決策を考えてくれたから、すごく安心できる存在だった。みんな優しくで…時に厳しいことも言われたけど(笑)。今思えば、それも全部愛情だと思える。たまに会いたくなるよ。

コタンはどんな存在だった?

とても頼りになる人。一人暮らしを始めるための物件探しや、生活保護の申請へ一緒に行ってくれたり。生活保護課の人に、「高校生が一人暮らしするんですか?自宅に戻ることはできないんですか?」と聞かれたとき、自宅の状況を見ていたコタンが「あの家に戻すなんてできない」ときっぱり言ってくれた。それがとても嬉しかった。

もし、ぬっくハウスで過ごした期間がなかったら、今どうしていると思う?

昔と変わらないままじゃないかな。誰かを頼ることができない、自分の弱さを見せられない自分だったと思う。ぬっくハウスで生活した時間があつたからこそ、嫌なことは嫌だと言えるようになったと思う。

ぬっくハウスがもっとも安心できる場所であるために、こうしてほしいという点はあるかな?

少人数の集団生活だからか、密な関係になりやすい。それで入居している子たちと合わないと感じることがあるのは仕方がない。仕方がないんだけど、そういう気持ちも含めて、もう少しゆっくりスタッフと話せるスペースがあるといいな。リビングは他の子がいるし、スタッフルームは密集?している感じでゆっくり話せないから…。

これから利用する人たちへ、メッセージをどうぞ!

人生の中で経験するところとして、ぬっくハウスは特殊な場所だと思う。でも、子どもどうしは下の名前しか知らないのに、なぜかすごく仲良くなったり、大人も信頼してもいいと感じられるようになったりするから、そこでの出会いを大事にしてほしいなと思う。

私も、資格をとって仕事に就きたいと思っているので、がんばります!



News Letter Vol.17

2024年12月

… 副理事長ご挨拶 …

いつも子どもセンターぬっくをご支援くださり、ありがとうございます。先日、「Re-Co」におじゃましました。食べて楽しいダイニングキッチン、一人ひとりが安心できる個室といった住環境や、月1回開催される「子ども会議」などで子どもたちの気持ちを無視せずに耳を傾け、答えを言うことだけが正解ではないと粘り強く関わる職員の姿勢から、子どもたちを大切にしている思いが伝わりました。Ma-Coの開設から早くも1年が経とうとしていますが、振り返れば9年前、森本前理事長と出会い、ぬっくハウスの立ち上げの時に住居探しをしたことが懐かしく思い出されます。その後、Re-Co、そしてMa-Coの運営を続けていますが、ぬっくが、対人不信や深い孤独を抱えた子どもたちによりそい続けていく姿勢は、誰もが人の温もりを感じながら安心して自分らしく生きていける社会へとつながっていくと、そう思うのです。これからも、この大事な環境が継続されるには、職員体制が大事です。微力ですが、明るくやりがいのある職場環境づくりに協力していきたいと思っています。今後とも温かいご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

副理事長 廣瀬みどり

ぬっく活動カレンダー 2024.2 ~ 2024.9

- 2024.2.8 … 大阪府立和泉総合高校教職員人権研修において、ぬっくの活動について講演
- 2024.2.10 … 大阪弁護士会主催おおさか人権フェスタにブース出展、人権ひろばに登壇
- 2024.2.25 … 令和5年度大阪府依存症早期介入・回復継続支援事業 いちごの会主催・市民講演会で「生きづらさを抱える子どもたち」をテーマに講演、シンポジウムに登壇
- 2024.3.21 … 大阪西ライオンズクラブ結成記念例会において、ぬっくの活動について講演
- 2024.7.27 … 2024年度全国定通教育学習交流集会 in 神戸 「あきらめない、いそがない、ひとりにしない定通教育」において特別報告

ご支援のお願い

ぬっく会員募集

正会員 入会金 5,000円  
年会費 5,000円

賛助会員 個人1口 3,000円  
(年会費) 法人1口 10,000円

現金・物品寄付

- 若者向けのもの
- お箸 ●マグカップ
- お米 ●お菓子等

ぬっく応援会員

毎月500円~  
月1回自動決済

お問い合わせ

会費納入・ご寄付は  
下記QRまで



入会金・会費・ご寄付の  
振込先

三菱UFJ銀行 梅田新道支店 普通預金 0206469  
特定非営利活動法人子どもセンターぬっく  
ゆうちょ銀行 〇九九店 当座預金 0208341  
特定非営利活動法人子どもセンターぬっく

## ぬっくハウス

### 誕生日会&ハロウィン

- ハウスでお誕生日を迎える子がいます。特別なことはできませんが、リクエストメニューとケーキを用意して皆でお祝いします。同時期に入居している子が、似顔絵を描いて一緒にお祝いしてくれました。
- ハロウィンの飾りつけをしていると、折り紙で作ったものを貼ってアレンジしてくれました。外で皆で楽しむといったことは難しいですが、気持ちだけでもワクワクな感じです。(ハウススタッフO)



▲リクエストメニューのビーフシチュー

## Re-co 夏祭り

8月のある日、夏祭りメニューで夕食でした。たこ焼き、焼きそば、キュウリの1本漬け、ぶどう飴、ベビーカステラ、みかん缶(凍らせたもの)をリクエストしてくれました。普段はアルバイト等で全員で夕食をとることが難しいですが、今日は皆で和気あいあいと調理や食事を楽しみました。「いらっしゃーい、ハーフ500円ね」と焼きそばをつぎ分ける姿やお皿を持って嬉しそうにピョンピョンする姿はとても可愛らしく、夏の良い思い出になりました☆  
「夏らしいことしたいね～」という言葉から始まった今回の企画。当日に向けて花火の壁面やメニュー看板・屋台らしい小物の作成などなど準備を積極的に取り組んでくれるスタッフ一同、子どもたち以上にワクワクしていたのかもしれません(笑)  
当日はスタッフの準備した小物に大喜び、花火のBGMを流して壁面を見上げたり、屋台ごっこをしてお皿に盛りつけたり等、賑やかに過ごしていました!(Re-coスタッフI,W)



## Ma-co お出かけ・地域交流

昨年12月1日に「Ma-Co (まこ)」が開設され、もうすぐ1年が経ちます。初めて入居した子どもから、計6人の子どものとの出会いがありました。  
●夏休みに、子どもたちのリクエストで、風呂屋と外食に行きました。お風呂でさっぱりした後、ラーメン屋さんでたらふく食べました。一人あたりの予算を決めていたので、計算をしながらギリギリまで食べる子、普通にセットを食べる子など、それぞれでした。なかなか、みんなでどこかに出かけることは難しいですが、子どもたちの要望もあったので、また年末には外食したいなと思っています。  
●ご近所の方からいただいたスイカを皆で美味しく食べたり、神社の夏祭りに出かけたり、だんじり祭りにスタッフが参加したりと、地域とのつながりを感じられる機会もありました。(Ma-coスタッフM)



## 子どもシェルター 全国ネットワーク会議の参加報告

9/28,29に行われた「2024年度子どもシェルター全国ネットワーク会議 in 埼玉」に参加しました。会議に参加したのは今回が初めてですが、全国の子どもシェルターに携わる皆さんの熱気が感じられ、私も「よし!頑張るぞ!」という気になりました。  
全体で話した後の分科会では、3つのグループに分かれてディスカッションしました。私は、子どもから入居したいと相談があった場合の対応について話し合うグループに入って、他の団体の方の取り組みを聞いたり、ぬっくでの取り組みを紹介したり。非常に有意義な時間を過ごすことができました。ぬっくでは、事務局のスタッフが電話相談の内容を文書にして、対応する弁護士と共有しています。いったんメモをとってそれをパソコンで打ち込んでいるのですが、電話の内容を文字起こしするアプリを使っているという他の団体の方の話聞いて、そんな便利なものがあるとは!と目からうろこが。便利なものの力も借りつつ、子どもの声を聴いて、一緒に考えることに、これからも力を注いでいきたいと思っています。



1日目の会議後の懇親会では、各団体がステージに上がって団体紹介!北は北海道から南は沖縄まで、各地の皆さんのアピールが面白かったです。(各地の皆さんがお土産のお菓子を持ち寄って、プチ全国物産展になっていて幸せでした。)  
これからも、全国に仲間がいることを思い出しながら、スタッフや運営メンバー、コタンらみんなと一緒に、子どもたちと関わっていききたいと思います。(事務局T)

## たくさんのご支援ありがとうございます!

ご寄付等くださった方(敬称略、順不同) 2024.2.1~2024.9.30

小林潤子、河相武利、大橋さゆり、日下千代子、大平喜美子、中畑卓明、平野由美子、植西智雄、藤田玲、川本美佳、上川和子、奥村健、河内山淳子、喜多寿美、金井香苗、黒澤公子、齋藤直美、佐伯愛、松井千恵子、谷口哲也、今井孝直、長沼千絵、田中かずみ、中島章、鍋倉義明、河野強、郡山恵里子、渡邊国和、高間量子、鈴木資子、松本八千代、渡邊徹、坂本哲、浄長寺・川上玄有、杉村徹、岡本勝美、松本友子、中川雄太、齊藤正実、石津文乃、沖亜記、内藤千賀、大井仁美、矢口敬子、椿本伸明、村上周、平内さくら、千里寺・武田大信、直の会・土居止戈代、チャリティショップめぐりもの・大野通子、大阪ホームサービス株式会社・穴見弘治、日証協こどもサポート証券ネット、公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団、国際ソロプチミスト大阪-梅田、一般社団法人不動産あんしん相談室・神田加奈、てるうさファーム&キッチン、大阪みおつくしライオンズクラブ、認定NPO法人おてらおやつクラブ、社会福祉法人大阪府共同募金会、吹田市社会福祉協議会、公益財団法人きずな育英基金、一般財団法人H2Oサンタ、フロンティア勉強会、日本キリスト教団天満教会北区社協善意銀行)、大阪西ライオンズクラブ、株式会社カブコン、愛すみれケアプランセンター、最光寺、カタギ食品株式会社、若草プロジェクトファーストリテイリング (他35名)

### 物品のご寄付



応援会員は  
44名です

(2024年10月時点)

継続的なご支援に  
感謝します

